

各会議等の実施状況報告について

提出日 令和2年9月25日

担当課 図書館

会議名称 第1回湖西市子ども読書活動推進計画策定委員会

開催日時 令和2年8月26日(水) 15時00分～16時20分

開催会場 湖西市立中央図書館 学習研修室

会議内容

- 1 教育長あいさつ、辞令・委嘱状の交付
- 2 会長、副会長の選出 会長 内藤委員、副会長 近藤委員
- 3 協議事項

(1) 第2次計画の検証及び今後のスケジュールについて

事務局説明

・第2次湖西市子ども読書活動推進計画の取り組みと成果
地域、保育園・幼稚園、学校、図書館、啓発・広報のそれぞれに対する取り組み・成果を説明

質問・意見

質 令和2年度のふたば学級は実施しているか。

答 今年度は中止。代わりに資料を作成して配布するよう対応中。

質 ブックスタート事業は生後6ヶ月児を対象としているが、読み聞かせに興味を持つのか。

答 絵本の認識はなくても、親子のふれあいや言葉がけは認識しており、絵本の楽しさは伝わっている。

意 コロナ禍において、図書館も臨時休館していたが、再開とともに利用者が集まっており、図書館の需要を感じられる。

意 絵本ではなく動画を見せる保護者が多くなっている。保護者自身が絵本の素晴らしさを知り、子どもたちに伝えていくことが、子どもたちが絵本を楽しむためには必要だと考える。保護者向けに絵本の素晴らしさ、楽しさを伝えられる場が定期的にあると良いのではないか。

意 子どもが本に親しむためには、幼い頃から接するほうが良い。そのような面でもブックスタートは良い活動だと考えている。また、コロナ禍において、本を触る前には消毒や手洗いをするなど、この機会に本を扱うマナーを子どもたちに伝えていけたらと考えている。

質 子どもが読書に親しむためには、周りの大人が重要。保護者への啓発活動は具体的にどのようなことを実施しているか教えてほしい。また、資料はあるか？

答 「こどもと楽しむ絵本リスト」をブックスタートで配布している。おすすめ絵本や、読み聞かせの意義、読み聞かせ方法のアドバイス等が掲載されている。

質 国際交流協会ではどのように本を読み聞かせしているのか？また年齢層はどのくらいか。

答 主に小学生、中学生に読み聞かせをしている。約15分間に2、3冊を読んでいる。家族が参加することもある。絵本の種類は様々で、昔話や落語、科学の本など多岐に渡る。

質 近年では電子書籍が登場し、家庭でも利用されている。利用経験のある方に感想を聞きたい。

答 一番のメリットは、読みたいと思った時にすぐ手に入ること。デメリットは、自分の端末にダウンロードするため、他の人に貸し出すことができず、共有できないことだと感じている。端末により、一回に目に入る情報量が違うため、小さい端末で読む際は、エッセイなどの内容が軽い本が良いと感じている。

意 実感としては本を読む子、活字に親しんでいる子は、成績がぐんと上がる。数学でも読解力が必要。幼い頃に本を読む習慣をつけないかという話もあったが、中学や高校に上がってからでも、周りの大人がアクションを起こすことで、本に目覚める子もいる。大人がどれだけアクションを起こせるかが重要であり、年齢が高いから呼びかけても無駄というわけではない。

質 電子図書館がある他自治体の活用方法は？

答 浜松市や磐田市など。自宅にしながら資料を借りたり、返却したりできることがコロナ禍において注目されている。ただし、導入するには費用面など準備が必要。

意 現在衛生面に不安があるため、幼稚園での絵本の貸出を中止している。家庭によっては絵本に触れる機会が少なくなっている。再開時期が不明だが、少しでも絵本に触れる機会を増やそうと、短時間、少人数、離れて座らせるなどして小規模な絵本の読み聞かせを行っている。読み手はフェイスシールドを着用している。様々な行事が中止になり、子どもたちの経験が少なくなっている。今までのかたちを変えて、今できることを実施していこうと考えている。

質 コロナ対策で実施していることを教えてほしい。

答 小学校では、本に触る前に手洗いを実施し、本の貸出を行っている。

図書館では会場を変更し、視聴覚室という広い部屋で換気も行いながら、7月からおはなし会を再開している。会場が広くなったことにより、小さな本では見えづらいため、大型絵本を利用している。職員、ボランティアは、フェイスシールドまたはマスクを着用している。

(2) 今後のスケジュール

策定委員会は2回を予定。11月～12月に計画案の説明と審議、1月に原案の確認を行う。